

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			現在は各教室に活動を振り分けて過ごしています。コミュニケーションや心のケアを支援する上で個別化を重視し、活動スペースが確保されています。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		職員の体制は指定基準を満たしています。職員の専門分野での経験と専門性をもった職員が支援しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		75%	25%	現在ご利用者はいません。今後受け入れを検討する際は、環境設定を行いご利用者が過ごしやすい環境整備を進めていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	75%	25%		各職員が主体となった取り組みになる為職員が広く参画する事が今後の課題でもあります。会議等の場面で参加できる機会を確保していきたいと考えています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		アンケートをもとに保護者からのご意見を受け、新たな業務改革を行なっていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	75%	25%		ホームページやトム・ソーヤ通信を通して活動概要や目的・情報を発信しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%		現在は第三者による外部評価は行なっていません。各事業所の管理者が他事業所の視察を行いアドバイスを受ける機会を設けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			職員の学ぶ機会として学習会を行なっています。また、各事業所内でも定期的に会議を実施し、支援のねらいや目標の共有等を行なっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			既存の評価ツールを使用し、認知発達面に必要な領域や他者と関わる評価を実施して計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			アセスメントでは保護者の思いを聞き取り評価と照らしあわせて支援計画書を作成しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%		利用者様の目標や興味関心に合わせて課題を検討し立案を立てています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50%	50%		季節に応じた行事などを取り入れ、利用者様の興味関心を引き出せるプログラム

						を考えています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%			利用者様の課題を客観的に分析した上で支援しています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	50%			個別活動。集団活動のそれぞれに必要な課題を整理し、個別計画書の作成をしています
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50%	50%			職員間の打ち合わせを行なっています。支援の内容を分担して行っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%			支援終了後は必要な情報をチームズに入力共有し、重要な点は支援後共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				日々の記録は必ず入力し、支援の改善や気づきを共有しています。
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%			定期的に保護者から聞き取り、評価と照らし合わせて計画見直しをしています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	25%	75%			児童発達支援の提供すべき支援の支援内容に基づいた児童発達支援計画を行い、保護者から同意を得ています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				会議には様々な職員が参画し情報共有を行なっています。また、会議に向けて職員が書類作成し管理者の確認を受けています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%				学校との連携調整を行い、情報共有を適切に行なっています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	75%	25%			現在ご利用はありませんが受け入れ態勢はできています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%			現在関わる機会はありませんが今後認定こども園や幼稚園との情報共有をしたいと考えています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	75%	25%			現在学校を卒業した利用者様はおりませんが体制は整っています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%	25%			専門機関と連携し、情報共有しながら管理者がアドバイスを受ける機会を設けています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		100%			一般の高校生の見学時に交流を持つ事ができています。その他お楽しみ会等検

関係機関や保護者との連携

					討しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	25%	75%	会議に向けた書類作成を事前に行い、主に管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75%	25%	利用者様の当日の支援メニューを玄関に設置し保護者に見て頂き、お迎え時に様子や取り組みの過程をお伝えしています。また、定期的な面談も行なっています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25%	75%	今後、ペアレントトレーニングや親業などの開催をしていきたいと考えています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%	運営規程や支援内容は契約時に説明し、利用者負担については請求時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%	保護者からの相談は随時受け付け、相談を受けた際には問題等を聞き取り、専門の資格を有した者や職員間で情報を共有し、迅速かつ適切に対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%	50%	コロナで父母会を開催することができなかった為、今後は保護者同士の連携が取れるよう考えていきます。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	25%	迅速かつ適切な対応ができるよう聞き取りをし、学校や職員間で情報を共有して専門性をもち、客観的な助言ができるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		ホームページやトム・ソーヤ通信を通じて活動概要や目的・情報を発信し、ラインでの発信もしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%		写真や作品の名記には保護者の確認をとっています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%	保護者へはラインでの情報伝達や利用者様の様子を送信しコミュニケーションをとっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%	今後事業所の見学や行事に地域との関わりを持っていく考えです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		各マニュアルを玄関に掲示し保護者にご覧頂けるようにしています。また、検温チェックや手洗い・室内消毒・換気の徹底を行なっています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%	避難訓練を実施し、避難経路場所の確認や玄関に避難経路図を貼りヘルメットの設置をしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25%	75%	虐待を防止する為に職員間の研修を行ない適切な対応をしています。

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		100%		今の所身体拘束する利用者様はおりません。今後、利用者様の状況に応じて切迫性・一時性として検討の必要がある場合は保護者様へご報告・ご相談させていただきます。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			保護者に状況を確認し、職員と情報共有しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%		報告書にて原因の追究・背景の確認を行なった上で対応策を検討しています。